

尊厳のある死と看護

科目到達目標: 特定の疾患をもつ対象者だけでなく、人生の終焉にある人々を対象とした死にゆく人やその家族へのケア(エンド・オブ・ライフ・ケア)について学ぶ。

エンド・オブ・ライフの意味を考えながら、対象者とその家族に求められる最善の生活の質(QOL)を達成する、あるいは保証するケアのあり方、援助について考える。

科目責任者(所属): 大庭桂子(成人・老人看護学)、三好陽子(成人・老人看護学講座)

連絡先: 質問等はメールで連絡をください。その後対応します。keiko.o@tottori-u.ac.jp(大庭)miyoc.45@tottori-u.ac.jp(三好)

回数	月日	時限	講義室	対面可 授業方法	対面不可 授業方法	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	予習・復習内容	授業のキーワード
1	4/4(火)	3	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	死とは何か、死を取り巻く状況、人生の終焉にある人への看護の考え方	大庭 桂子	成人・老人看護学	死とは／わが国の死を取り巻く状況／エンド・オブ・ライフとは	生と死に関する統計、死の3兆候と脳死、死の意味、死にまつわる文化的様相、病による死／加齢による死／病の軌跡と心の動き、エンド・オブ・ライフ・ケア、悲嘆と喪失
4	4/11(火)	3	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	人生の完結期のケア ホスピスにおけるエンド・オブ・ライフ	大庭 桂子	成人・老人看護学	緩和ケアとは／ホスピスとは／多職種連携とは	緩和ケア、トータルペイン、ホスピス、生き方、過ごし方、いのちを生ききる、希望
2	4/18(火)	3	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	心を支えるコミュニケーション	大庭 桂子	成人・老人看護学	悪いニュース(バッドニュース)とは／がん専門看護師	悪いニュースの伝え方、コミュニケーション技法、ライブレビュー、死について話すこと、死の準備教育
3	4/25(火)	3	122	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	死の疑似体験	大庭 桂子	成人・老人看護学	死を迎えることについて疑似体験をし、エンド・オブ・ライフの時期にある対象者の世界について振り返る	喪失体験、悲嘆(グリーフ)、死の受容過程、死生観、エンド・オブ・ライフ・ケア
5	4/25(火)	4	122	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	死の疑似体験	大庭 桂子	成人・老人看護学	授業後に小レポートを作成し指定時間までに提出すること(1時間)	喪失体験、悲嘆(グリーフ)、死の受容過程、死生観、エンド・オブ・ライフ・ケア
6	5/9(火)	3	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	意思決定支援	大庭 桂子	成人・老人看護学	意思決定支援とは	意思決定、死決定支援、多職種連携、コーディネーター役割、人生の最終段階、QOL
7	5/16(火)	3	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	痛みに対するケア 症状緩和	大庭 桂子	成人・老人看護学	トータルペインとは／身体的、心理的、社会的、スピリチュアルな苦痛とは	緩和ケア、トータルペイン、QOL、WHO方式がん疼痛治療法、オピオイド、非オピオイド
8	5/23(火)	3	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	病院での看取りとケア	大庭 桂子	成人・老人看護学	危篤・終末時の生理的変化・身体的変化／エンゼルケアとは／グリーフケアとは	危篤・終末時の生理的変化・身体的変化、苦痛緩和、基本的欲求の充足、希望の実現への支援、看取りをする家族への支援、グリーフケア、死を迎えた後の看護援助
9	5/30(火)	3	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	在宅での看取りとケア 遺族への支援	大庭 桂子	成人・老人看護学	在宅ホスピスケアとは	在宅という場での安心と不安、生活の質、チーム連携、家族の心理・サポート、グリーフケア
10	6/6(火)	3	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	子どもの死の捉え方と終末期の看護	山崎 歩	母性・小児 家族看護学	予習:教科書で小児年齢別死因順位について確認する 復習:講義をもとに発達段階別での子どもの死の捉え方の変化についてまとめる	健康な子どもと病気をもつ子どもの死の概念 終末期の子どもへの身体的・心理的支援 子どもの意思決定
11	6/13(火)	3	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	終末期の子どもをもつ家族への看護	山崎 歩	母性・小児 家族看護学	予習:事前提示した動画を視聴し、感想をまとめる 復習:家族への支援について講義内容をまとめる	親、きょうだい、家族、グリーフケア、意思決定支援
12	6/20(火)	3	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	多死社会における高齢者看護の特性	三好 陽子	成人・老人看護学	・事前に当該授業部分の教科書を読んでおくこと。 ・講義後も講義内容の理解を深めるために当日の概要・ポイント等をまとめるなど、復習に励むこと。 ※授業到達目標および教科書範囲はeラーニングシステムmanabaに提示する ※その他、連絡事項はeラーニングシステムmanabaを参照すること	高齢者の死に関する統計的特徴、人生回顧、人生史、リビングウィル、臨床倫理
13	6/27(火)	3	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	終末疑似体験	三好 陽子	成人・老人看護学		人生のエンディング、終活
14	7/4(火)	3	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的課題	大庭 桂子	成人・老人看護学	倫理、看護倫理とは／ACPとは／セデーションとは	尊厳のある死、倫理的課題、意思決定(治療拒否の権利、DNR指示)、セデーション、看護倫理
15	7/11(火)	3	262	対面	パターン3遠隔(リアルタイム学習)	まとめ 「尊厳のある死」と「看護」とは	大庭 桂子	成人・老人看護学	尊厳のある死とは／看護とは	尊厳のある死、倫理的課題、医療倫理、看護倫理、看護師の役割

教育グランドデザイン:1、2、3、4

学位授与との関連:1、2

授業のレベル:3

評価: 授業目標の到達度を、レポート80%(各担当者の領域ごとに提示する)、演習態度20%(授業振り返りコメント記載内容を含む)で評価する。

実務経験との関連: 看護の臨床経験を持ち、臨床実習も担当している教員が尊厳のある死と看護に関連する学習を支援する

指定教科書: 適宜資料を配布する。第12回・第13回(三好担当): ナーシング・グラフィカ老年看護学①および②

その他: 授業目的・目標の達成に必要な適正な量の予習あるいは復習課題が適時各回の授業で課されます。